



Treasure Island Topics

宝島の話題



▲山並敬司・支部長(写真右)から賞品を受け取る参加者

親子で釣りを楽しむ

～ファミリー釣り大会～

8/2
倉岳

8月2日、天草宝島観光協会・倉岳支部主催の「ファミリー釣り大会」が開催されました。これは、親子で釣りを楽しんでもらおうと、同支部が初めて実施したものです。大会には、福岡市などから6組24人が参加。当日は、午前6時に宮田漁港を出港し、宮田・棚底沖で釣り糸をたれ、1kg級のヒラメやマダイのほか、ガラカブやベラなどを次々に釣り上げていました。なお、大漁賞には11.2kgを釣り上げた荒木裕司さんチーム(熊本市)が輝きました。



▲化石のクリーニング作業を体験する参加者の皆さん

恐竜の島で化石について学ぶ

～夏休み化石セミナー～

8/2・3
御所浦

8月2・3日、「夏休み化石セミナー」が御所浦地区で開催されました。今年で11回目の開催となる同セミナーには、小・中学生や家族連れなど県内外から46人が参加。同セミナーでは、御所浦白亜紀資料館で生きた化石などについての講話が行われた後、恐竜の化石が発見された弁天島や白亜紀の壁(地層)などを海上タクシーから見学。また、化石の発掘やクリーニング作業の体験なども行われ、参加者は熱心に取り組んでいました。



▲コーラを一気に流し込む子どもたち

約15,000人の人出で大にぎわい

～さざ波フェスタ～

7/20
有明

7月20日、四郎ヶ浜ビーチなどリップルランド一帯で「さざ波フェスタ2008」が開かれました。同フェスタ実行委員会(小林博光・実行委員長)の主催で、今年で15回目。晴天に恵まれた当日は、若者や家族連れなど約15,000人が訪れ、魚のつかみ取りやビーチフラッグ大会、コーラの早飲み大会のほか、有明町出身の演歌歌手・天草二郎さんの歌謡ショーなどを楽しんでいました。夜には海上から約1,000発の花火が打ち上げられ、夏の夜空を彩りました。



▲手びねりでの陶器づくりに挑戦!

伝統の技にチャレンジ!

～天草の伝統工芸品・制作体験講座～

8/3
本渡

天草文化交流館では、夏休み期間中の7月26日・27日、8月3日・9日、市内の小・中学生とその保護者を対象に「天草の伝統工芸品・制作体験講座」を開催しました。8月3日には天草陶磁器の講座が開かれ、10組29人が参加。天草陶輝会会員の手助けを受けながら、手びねりによる陶器づくりに挑戦しました。本渡北小学校2年の益田美咲さんは、「思うような形にならず難しかったけど、とても楽しかった。今日のことを絵日記に書きたい」と話していました。



▲白熱した試合を展開する剣道競技

親交深める真夏の熱戦!

～三地区親善体育大会～

7/20
牛深

7月20日、「第56回三地区親善体育大会」が牛深総合体育館などで開催されました。この大会は、歴史的なつながりを持ち、地理的にも近い本市と鹿児島県阿久根市・長島町の3地区の親交を深めることを目的に毎年実施されているものです。今年の大会には、バレーボールや卓球、ソフトテニスなど13種目に約500人が参加。各種目で熱戦が繰り広げられ、総合優勝には剣道、野球、男子・女子バレーボール、囲碁の5種目を制した本市が輝きました。



▲元気にプレーする子どもたち

猛暑の中 熱戦を展開!

～市子ども会球技大会～

8/3
新和

8月3日、市子ども会育成連絡協議会主催の「第3回天草市子ども会球技大会」が、新和グラウンドや新和体育館などで開催されました。大会には、男子のソフトボールに25チーム390人、女子のビーチボールバレーに43チーム372人が参加。猛暑の中、熱戦を繰り広げました。なお、優勝はソフトボールが深海子ども会(Aブロック)と久玉子ども会(Bブロック)、ビーチボールバレーが浅海子ども会(Aブロック)と茂串子ども会(Bブロック)でした。



▲高さ12.6mの旗ざおを1人で抱えて時間を競う参加者ら

青空になびく色鮮やかな吹き流し

～虫追い祭り～

7/20
河浦

一町田地区振興会(宮本春志会長)主催の「虫追い祭り」が7月20日、一町田小学校グラウンドなどで開かれました。高さ12.6mの竹に、長さ約3mの吹き流し約20枚を付けた旗ざおを1人で抱えて時間を競う競技や、旗ざおを頭や肩、あごに乗せる演技などが行われ、観客から大きな声援が送られていました。また、虫追い音頭の制作披露のほか、虫追い旗をあしらった手作りTシャツや河浦高校の観葉植物などの販売も行われ、会場は大にぎわいでした。